

獨協医学会

会 長 寺 野 彰 (獨協医科大学学長)

運 営 委 員 会 委 員

平田 幸一*	犬飼 敏彦**	秋山 一文	有阪 治	石光 俊彦
上田 善彦	内田 幸介	大竹 英樹	大平 修二	大類 方巳
小端 哲二	篠田 元扶	菅谷 仁	千種 雄一	中元 隆明
野上 謙一	服部 良之	濱口 眞輔	深澤 一雄	本田 幹彦

*委員長 **副委員長

Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

小端 哲二*	石光 俊彦**	上田 善彦	内田 幸介
大竹 英樹	大類 方巳	菅谷 仁	千種 雄一
中元 隆明	深澤 一雄	本田 幹彦	

*委員長 **副委員長

編集事務員

鯉沼 行子

編 集 後 記

今回、DOKKYO JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES・獨協医学会雑誌、第32巻3号をお届けします。本誌内容は質の高い癌に関する原著論文2編、英文での症例報告2編、短報1編が掲載されています。さらに特集として『がんによせて』が特集に取り上げられ、消化器内科の菅谷 仁教授に本特集の巻頭の形でまとめて頂き、他に癌に関する各分野における11人の専門の先生に執筆をお願い致しました。ご多忙の折、執筆にご協力頂いた各先生に深謝申し上げます。

さて、癌診断に関しての画像診断法は飛躍的に進歩してきております。本学においても注目されるものに性能のアップしたCTによる早期診断率の向上あるいは治療効果の評価、癌診療に関するPETの設置と応用等があり、ますますこれらは癌患者の診断と治療効果の評価に際して偉力を発揮する

ことでしょう。一方、進行癌に対する化学療法の進歩はゲノム解析により分子標的治療薬剤に変貌しつつあります。上皮細胞因子のリセプターやシグナル伝達、増殖蛋白に的を絞った新しい治療法です。CMLに対するグリベック[®]、乳癌に対するハーセプチン[®]、肺癌に対するイレッサ[®]、などが本邦で保険収載されたことは注目に値されるもので、まだまだ未解決な問題は存在しますが大変期待できる薬剤であることは間違いのないでしょう。

本誌から、若い医師・研究者たちが癌に関する新しい研究や診療の流れを予見して、新しい研究分野を積極的に開拓しようとする興味を抱いたならば望外の喜びです。

(中元隆明)

2005年10月20日印刷

第32巻 第3号

2005年10月25日発行

編集発行人

獨協医学会

寺 野

彰

発行所

獨協医学会

製 作

教 文 堂

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
獨協医科大学

Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

〒162-0804 東京都新宿区中里町27

Tel (03) 3260-6136